

OpenOffice.org と LibreOffice の比較情報

2011 年 3 月 31 日

日本 OSS 推進フォーラム

クライアント部会オフィスのオープン化タスクフォース

目次

概要.....	3
ファイル形式.....	4
OpenOffice.org 3.3.0 の主な新機能.....	5
LibreOffice 3.3.0 の主な新機能.....	6

概要

LibreOffice は、オープンソースプロジェクトのオフィススイート OpenOffice.org3.3 開発版を元に新たに開発メンバーが集まり開発し、リリースした製品である。開発コミュニティである The Document Foundation は 2010 年 9 月に設立され、2011 年 1 月に同コミュニティから LibreOffice 3.3.0 が初リリースされた。

ほぼ同時期にリリースされた OpenOffice.org 3.3.0 とは同等の機能を備えているものの、独自の新機能も取り入れられている。ユーザーの方にとって、どのような機能の違いがあるかを知ることが、それぞれのオフィススイートの導入について 1 つの指針を示すことになるだろう。

本ドキュメントについて

本ドキュメントの「OpenOffice.org 3.3.0 の主な新機能」は、独自に動作検証を行い作成しています。著作権は、日本 OSS 推進フォーラムに帰属しています。



本ドキュメントの「LibreOffice 3.3.0 の主な新機能」は、The Document Foundation の作成するドキュメントを元に、翻訳、加筆して作成しています。著作権は、The Document Foundation に参加する各貢献者に帰属します。なお利用条件は、Creative Commons Attribution-ShareAlike 3.0 を参照ください。

また、本文書に記載されている会社名や製品名は各社の登録商標または商標です。

ファイル形式

OpenOffice.org と LibreOffice の標準ファイル形式は双方とも ODF 形式である。これは第三者機関 OASIS (Organization for the Advancement of Structured Information Standards) で策定しているファイル形式である。またどちらも同じコードを元に開発しており、現在の準拠度合いには大差がない。準拠度合いが同じもしくは高いということは、ODF ファイル形式での相互運用性にほぼ問題がないことを意味する。

OpenOffice.org 3.3.0 の主な新機能

OpenOffice.org 3.3.0 では、Microsoft Office 2010 相当の機能、OpenOffice.org 独自の先進的な機能が取り入れられている。OpenOffice.org 3.3.0 の新機能として、主なものは以下の表をご覧ください。

カテゴリ	機能	概要
全般	印刷機能の改善	「ファイル」-「印刷」で起動されるダイアログボックスが大幅に改善された。印刷結果がプレビューで確認できるようになり、大変わかり易くなっている。Microsoft Office 2010 相当の機能である。
	検索バー	各アプリケーションの標準ツールバーの右側に新しく検索バーが設けられた。この検索バーに直接キーワードを入力することで素早く検索が行える。一般的なオフィスソフトではダイアログボックスを表示して検索を行う必要があり、OpenOffice.org 独自の画期的な UI である。
Calc	100 万行のシートに対応	Calc で扱えるシートの行が、65,536 行から 1,048,576 (約 100 万) 行に拡大された。Microsoft Office 2010 相当の機能である。
	グラフに図形描画機能を追加	グラフの設定機能に図形描画が追加された。これまでは、グラフに追加された図形は、別のオブジェクトとして扱われてしまうため、グラフの変更時、コピー&貼り付けなどの操作時に不便だった。3.3.0 からは同じオブジェクトとして扱えるようになり、これらの操作が問題なく行える。Microsoft Office 2010 相当の機能である。
Impress	スライドレイアウトの改善	スライドレイアウトの選択画面が 3.3.0 から一新された。これまでは「タイトルスライド」「タイトル、テキスト」など 27 のレイアウトが登録されていたものが、3.3.0 では 16 にまとめられている。テキストと表、グラフ、画像、動画の 4 つのオブジェクトが 1 つのスライドレイアウトを選ぶだけで入力可能となっており、生産性の向上につながる改善だ。これは OpenOffice.org 独自の UI となっている。

参考:<http://wiki.services.openoffice.org/wiki/JA/Marketing/NewFeatures/3.3>

LibreOffice 3.3.0 の主な新機能

LibreOffice 3.3.0 は、前述した OpenOffice.org 3.3.0 の機能に加え独自の機能が加えられている。主なものは以下の表をご覧いただきたい。

カテゴリ	機能
全般	フラット XML 形式ファイルの読み込みと保存に対応
	LGPL (ライセンス) をヘルプメニューから参照可能に
	Wiki 版オンラインヘルプを用意 (従来のヘルプもパッケージを別途インストールすると利用できる)
	LibreOffice の実験的で不安定な機能を「ツール」-「LibreOffice」-「全般」のオプションで有効/無効を切り替えられる (デフォルトは無効)
	Linux Libertine G フォントと Linux Biolinum G フォントをバンドル
	カラーパレットに LibreColor を追加
	TIFF ファイルのアルファチャンネル情報をインポート可能に
	保存/開くダイアログボックスで使用可能なファイル形式をすべて表示
	複雑なメニューオプションにはラジオボタンを使用
	非表示になったドキュメントの保存を許可するオプションの追加
	(ディストリビューションのビルドによって) UNIX 系ビルドにクイック起動を追加
	スモールキャピタライズ機能の修正
Writer	表紙ページの作成と管理を簡単に行えるダイアログボックスを新たに追加
	Lotus Word Pro のインポートフィルター
	SVG 画像を Writer にインポート
	データロスを伴う非常に重要な RTF へのエクスポート機能の不具合を修正
	オートコレクト機能が置換するワードを収録
	Writer の表内の数値認識をオフに
	MS Works ドキュメントのインポート

	ナビゲータでは、一般的なツリー表示で見出しを展開できる
	多くの Wordperfect のインポート機能を改善
Calc	より普通な標準のキーバインディング (Excel と操作互換性のあるものに変更された。旧来のキーバインディングにもオプションで変更できる)
	シートを挿入するための「+」タブを追加 (このタブをクリックするとシートが追加される)
	スモールキャピタライズ機能の修正
	罫線に点線・破線が加わる
	罫線の表示/非表示を切り替えるアイコンがツールバーに加わる
	Excel ドキュメントのインポート時のパフォーマンスと相互運用性を改善
	DBF ファイルのインポート時のパフォーマンスを改善
	ODS ファイルのインポート時のパフォーマンスをやや改善
	セル内の文字列の水平方向の均等割付、垂直方向の均等割付を可能に (CJK ロケールでよく利用されるもの)
	Calc A1、Excel A1、Excel R1C1 という 3 つの異なる数式構文をサポート
	Tab キーを使うと選択された位置でオートコンプリートを実行し次のセルへ移動する
	Ctrl+Tab キーでは、オートコンプリートの選択を循環できる
Impress/ Draw	PowerPoint の PPTX ファイルのグラフのインポート機能
	Impress の表の罫線に点線・破線が加わる
	プレゼン用の拡張機能の「Presenter Screen」を標準に (ラップトップ PC の場合)
	Draw で編集可能な状態で SVG 画像をインポート
Base	図形のコントロールにプロパティ表示を追加

原文 : <http://wiki.documentfoundation.org/Marketing/Lib0ReleaseEvents/L0PressKit/FeatureList3.3>